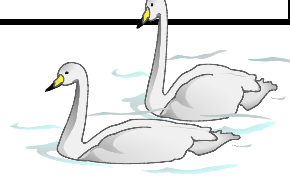


玉川村 教育委員会だより

平成23年12月22日

50号
発行者 玉川村教育委員会
教育長 富岡ケイ子

幼稚園・小・中学校 冬休み 12/23~1/9



雪化粧した那須連峰の稜線がくっきりとした冬ならではの美しい景色となってきました。また、中村池にも白鳥が飛来し始まっています。寒さも厳しさを増し、本格的な冬を迎え、いよいよ幼稚園も小中学校も冬休みに入ります。子ども達の環境等、さまざまな課題を抱えての2学期でしたが、子ども達は元気いっぱい学習にスポーツや文化面で大いに個性を發揮していました。子ども達の困難を乗り越える力強さや前向に一步一步進んでいく姿勢に感動を覚えます。今年の冬休みは18日間とちょっと長くなります。冬休みは、伝統的な行事や多くの人と接する機会がたくさん出てきますので、多くの社会性を養える時期でもあります。積極的に行事に参加させたり、あいさつなどをしっかりさせたりと、多くの学びができる事を願っています。

サウンドセラピスト Aikaさんが須釜中にやってきた



11月25日、須釜中PTA教養委員会主催の家庭教育学級「講演会」が授業参観後体育館で開催されました。今回は、被災地への支援ということもあり、サウンドセラピストとして国内外で大活躍中のAikaさんが来校してのサプライズ的な「コンサート」でした。Aikaさん自身も、阪神大震災で被災し、娘さんとがれきの下に閉じこめられたという実体験があり、その体験を話し、「東日本大震災で被災した人達に、私に出来る限りのことをしたい。」と語りかけていました。また、サウンドセラピーの一環として、上手な呼吸の

仕方なども学びました。Aikaさんの美しい澄みきった歌声、細いからだから出るすごい音量、そして明るく前向きに多くの方々に感動を与える生き方に、生徒も保護者も魅了され癒された時間となりました。



ありがとうございます
須釜小 児童図書 80冊 そろう
北海道在住 小原好明様 (95才 南須釜堂ノ内出身) より



若かりし頃、須釜地区で過ごした小原様から「子ども達のために役立ててほしい」と10万円のご寄付がありました。学校では教職員やPTA役員とも相談し、このたび、子ども達の大好きな児童図書購入させていただきました。今年2学期までに発刊された新刊書ばかりの本を80冊も揃えることが出来、校長も大変感謝しておりました。一階廊下に「小原文庫コーナー」を設置したところ、子ども達からは歓声が上がり、早速手に取り、ページをめくり読み始めていました。「暗唱教材72選」に取り組んだり、辞書を大いに活用したり、文字に親しみ文章に興味を持っている須釜小の子ども達にとって、何よりのプレゼントとなりました。良書に親しむ習慣が出来る環境にまた少し近づきました。ありがとうございます。



「学校支援地域本部事業」 地域ボランティア 登録者39名 ～ 少しずつではありますが 進んでいます ～

教育委員会では、今年度より県の支援を受けながら、地域住民がボランティアとして学校の教育活動をサポートする体制を整備する「学校支援地域本部事業」を進めております。6月頃から「地域ボランティア」の方々を募りましたところ39名が登録してくれました。

全ての登録者に活躍していただく場が学校のニーズにもよるので、まだ軌道に乗ってはいませんが、少しずつ機能しています。
①定期的な読み聞かせ ②語り部 ③昔遊び ④校地等の環境整備 ⑤図書の貸し出し 等々で活躍していただいています。今後、学習への支援も増えるよう学校へも働きかけています。

くすがま幼稚園 本の貸し出しボランティアの様子
両幼稚園には、昨年度後半に50万円程度の図書費が予算化されたので、幼児向け図書が一気に増えよい環境に整備されました。くすがま幼稚園では、夏休みに教職員で空き教室を図書室兼プレールームに環境整備を行い、「家庭でも親子で読書タイムが出来たらいいなあ」という願いから、園児に本の貸し出しをすることにしました。そこで、出番が地域ボランティアの方々です。毎週金曜日が貸し出し日で、今のところ7名の方が、交代でお手伝いをしています。子ども達も、自分で読みたい本を選び、ボランティアの方の前に行き記入してもらい、家に持って行きます。どんどん借りる園児も増えていきますし、「お願いします。」「ありがとうございます。」などあいさつもはっきりしてきていると副園長先生も大喜び。地域の方と子ども達が向き合うことで、学校・幼稚園の教育活動が充実していくことが今後期待できる事業です。



幼小中連携強化の推進

～中学校教諭が小学校で授業③ 異学年交流 幼・小交流学习～

幼・小・中の児童生徒の交流や、先生方の交流授業などを進めている「幼小中連携強化推進事業」も、各幼稚園・学校で様々な工夫をしながら積極的かつ継続的に取り組んでいます。校内でも、学級や学年枠を外した異学年交流学习、中学校の専門教員の小学校での授業、T・T授業、園児と小学生の交流学习など連携、接続を考慮した教育活動を深めています。玉川村の子ども達のため、今後も、幼小中を見通し教育効果を高める授業を構築していきます。



中学校音楽 鈴木弥生教諭の「和楽器 琴の学習」(玉一小) 分かりやすい楽譜を準備されたので「さくらさくら」が弾けちゃいました。



数学 佐藤好男教諭 川辺小での授業。系統性を大事にした個別指導に子ども達も納得。



玉一小1年生といずみ幼稚園児の交流学习。1年生の逞しい成長に後輩の園児達も憧れていた。

職場体験

川辺小学校 6年生 キャリア教育の一環

小学生は珍しい職場体験学習を川辺小6年生が実施しました。いずみ幼稚園、泉保育所、こぶしの里、ふれあいセンター リオンドールの5カ所でそれぞれ体験しました。乳幼児とふれあった子ども達は自分を見つめ直すなど、多くの学びをしてきました。学校へ戻ってからは「職場体験新聞」づくりに取り組み、計画、体験、まとめ、表現・発表と連続した学習を行い有意義な活動となりました。

